



2015年12月30日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	13,628円
純資産総額	5,467百万円
受益者数(直販)	1,533人(+28)

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	94.7%	0.6%
現金等	5.3%	▲0.6%
構成銘柄	50社	▲2社

分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)
0円	0円

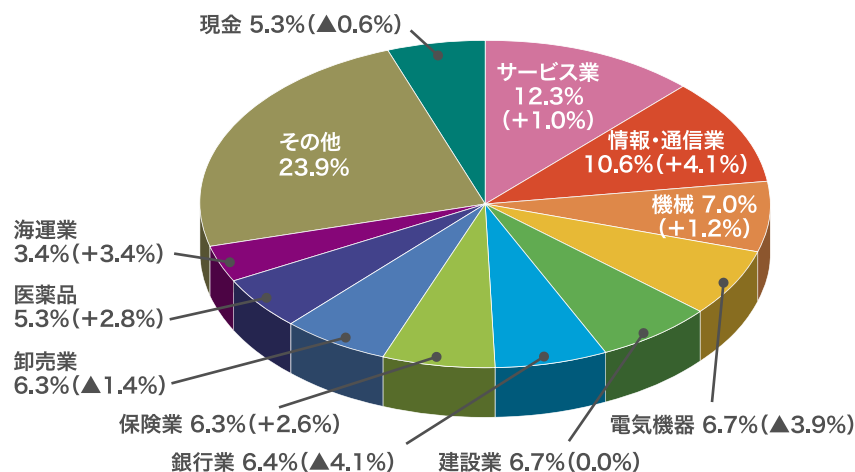
受益者の皆様、2015年12月18日に第2期決算を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。

分配金は0円とさせていただきます。分配方針につきましては、当レポートP5「お申込メモ」の「分配方針等」をご覧ください。

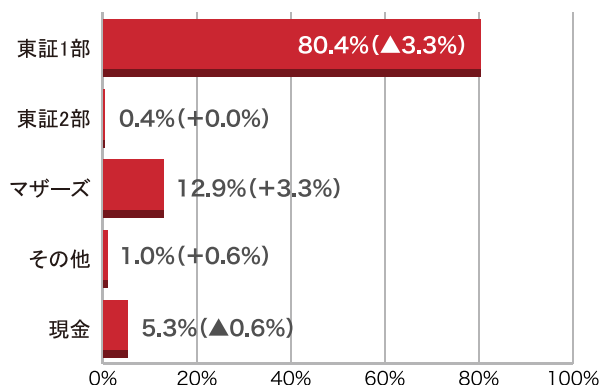
基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
▲0.95%	11.66%	▲2.93%	14.70%	36.28%

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場概況

12月の株式市場は、前半、原油価格の下落やECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和策への失望、米高利回りファンドの事実上破綻に伴うクレジット市場での損失拡大懸念などにより大きく調整しました。その後、月末は商品相場の反転や米国株式の上昇などを受けてやや戻り基調となりました。TOPIXの月間リターンは2.09%の下落、日経平均は3.61%の下落となりました。

詳細は以下の通りです。1日は7-9月期法人企業統計で2007年1-3月期以来となる高い設備投資伸び率が発表され国内景気回復を好感し上昇しましたが、3日のECBによる追加金融緩和策が期待を下回ったことなどから世界株安と円高が進行、日本株も下落しました。その後も原油価格が下落を続ける中、米高利回りファンドの事実上破綻を背景としたクレジット市場での損失拡大懸念などが下げに拍車をかけ、日経平均は15日(ザラ場)に月間最安値18562円を付けました。17日のFOMC(米連邦公開市場委員会)利上げ決定後は反転上昇となり、18日の日銀による金融緩和の補完策発表でも一時上昇しましたが、引けにかけては暴落するなど乱高下する展開もありました。月末にかけては商品相場の反転や米国株式の上昇などを受けてやや戻り基調となりました。

主な株式指数をリターン順に見ると、東証マザーズ指数(+2.32%)、JASDAQ指数(▲0.45%)、日経JASDAQ平均(▲1.07%)、東証2部(▲1.18%)、TOPIX(▲2.09%)、日経平均株価(▲3.61%)となりました。TOPIX規模別では、コア30(▲1.86%)、スモール(▲1.89%)、ラージ70(▲2.09%)、ミッド400(▲2.39%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、水産・農林業(+24.23%)、空運業(+2.44%)、食料品(+1.72%)でした。同下位3位は、その他製品(▲6.62%)、パルプ・紙(▲6.36%)、証券・商品先物取引業(▲5.86%)でした。なお33業種のうち9業種がプラスリターンになっています。

運用状況

◎12月の主な投資行動

1日(日経平均終値20012円)から7日(同終値19698円)にかけては、銀行業や機械などを売却することで株式組入比率(以下、同比率)を85%台まで引き下げました。その後、米高利回りファンドの事実上破綻に伴うクレジット市場での損失拡大懸念を背景とした下落局面においては、海運業、医薬品、保険業などを徐々に買い付け、15日(同終値18565円)に同比率を95%超としました。17日(同終値19353円)のFOMC利上げ決定後の上昇局面、及び18日(同高値19869円)の日銀による金融緩和補完策の発表直後の急騰局面においては、卸売業などを一部売却、同比率を91%台にまで一旦引き下げました。急落後22日(同終値18886円)から月末(同終値19033円)にかけては、情報通信などを買い付ける一方、商品相場の反転に伴い上昇した非鉄金属などを一部売却することにより、月末の同比率を94.7%としました。

◎12月のファンド月間リターンとその要因

12月末の基準価額は13628円(11月末13759円)、ファンドの月間リターンは0.95%の下落となりました。主な要因は、前月末より業種組入比率上位としていた電気機器や機械、サービス業などが下落したことによるものです。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは2.09%の下落となっており、当ファンドは1.13%のアウトパフォームとなりました。主な要因は、当ファンドにおいてTOPIX構成比率よりも多く保有していた保険業や建設業などの業種別指数が、TOPIXより高いリターンとなったことなどがあげられます。

◎12月末のポートフォリオ

株式等組入比率は94.7%(前月末比+0.6%)にやや引き上げており、逆にキャッシュ比率は5.3%(同▲0.6%)にやや引き下げています。市場別構成比率では、東証1部80.4%(同▲3.3%)、東証マザーズ12.9%(同+3.3%)などとなっています。業種別構成比率では、1位がサービス業12.3%(同+1.0%)、次いで情報・通信業10.6%(同+4.1%)、機械7.0%(同+1.2%)となりました。組入銘柄数は50銘柄(同▲2)となりました。

● 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2016年1月6日 運用部長 糸島 孝俊

組入上位5銘柄の紹介

(2015年11月30日現在)

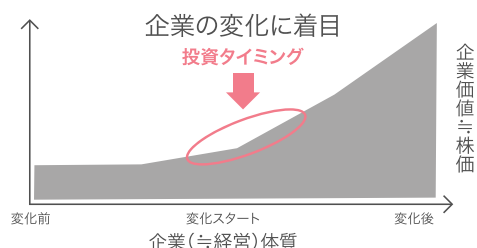
銘柄名		概要
業種	組入比率	
アルプス電気		高精度な金型技術を有する電子部品メーカー。顧客と強固なパートナーシップを築き、製品開発の段階から参画する「デザイン・イン」が強み。「ヒューマン・マシン・インターフェース」、「センサ」、「コネクティビティ」の領域を開拓。自動車電装化のなかで恩恵。
電気機器	5.0%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	4.9%	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	4.9%	
住友金属鉱山		住友グループ発祥の一翼を担う銅精錬事業を今に受け継ぐ。コアビジネスは、銅、金などの非鉄金属を採鉱・開発する資源事業や精錬事業、非鉄金属を産業素材に加工する電子材料事業。中長期で目指す姿は、「世界の非鉄リーダー&日本のエクセレントカンパニー」。
非鉄金属	4.9%	
三菱商事		地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせという世界でも稀な事業モデルを持つ。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向、引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続ける。
卸売業	4.5%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

定性評価



- ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目
- ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」

日本株のみに厳選投資

50銘柄

- ・投資対象は大型から小型株
- ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施
- ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の角度が高い約50銘柄を厳選
- ・50銘柄で分散効果は十分可能

定量評価

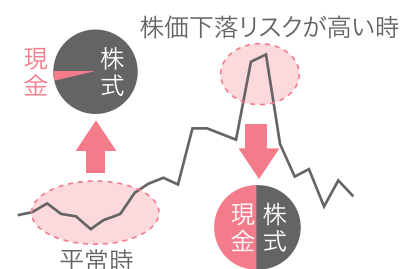
株価に対する割安感

- ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション)

収益力の変化と持続性

- ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却

株価下落リスク回避のためのダイナミックな運用



株価下落リスクの回避を目指し、株式組入比率をダイナミックにコントロール

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
12月2日	日経電子版	【国内株式概況】「株、2万円達成もなお先高感」で糸島がコメントしました
12月4日	朝日新聞デジタル	【ビル・ゲイツと語る、日本×未来】「渋澤健氏『新しい寄付の形を』お金は水、人が色づけ」
12月8日	日本経済出版社	「投資信託選び完全ガイド2016年版」でコモンズ30ファンドとザ・2020ビジョンが紹介されました
12月9日	日経新聞20面	「M&I 電子版セクション」【蘭APGの年金運用「企業を長期的評価、手本に」】で渋澤のコラムが紹介されました
12月10日	日経新聞19面	「訪日客関連株が大幅安」で糸島がコメントしました
12月12日	日経新聞16面	スクランブル 「円安＝株高、崩れる定石」で糸島がコメントしました
12月17日	BSジャパン	「モーニングプラス」に糸島が出演しました
12月24日	日経電子版	「年末あのマリーは生きるか 上昇に期待残すもしすぎは禁物」で糸島がコメントしました
12月26日	日経新聞18面	スクランブル「トップ銘柄、受難の時」で糸島がコメントしました
12月28日	日経CNBC	「日経ヴェリタストーク」に渋澤がレギュラーコメンテーターとして出演しました

セミナー案内

セミナー名		日付	時間	場所
「ザ・2020 ビジョン」 "2 周年記念" 四半期報告セミナー	福岡	1月15日(金)	19:00～20:45	アクロス福岡(福岡県福岡市)
	東京	1月16日(土)	13:00～14:45	TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)
	東京・受益者限定	1月16日(土)	17:00～18:30	TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)
	大阪	1月22日(金)	19:00～20:45	大阪総合生涯学習センター(大阪府大阪市)
	大阪・受益者限定	1月23日(土)	17:00～18:30	AP 大阪梅田茶屋町(大阪府大阪市)
	名古屋	1月24日(日)	10:00～11:30	名駅オフィスパーク名駅 プレミアホール(愛知県名古屋市)
「ザ・2020 ビジョン」 "2 周年記念" 「懇談会」	東京	1月16日(土)	19:00～20:30	TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)
	大阪	1月23日(土)	19:00～20:00	AP 大阪梅田茶屋町(大阪府大阪市)
	名古屋	1月24日(日)	11:30～12:30	名駅オフィスパーク名駅 プレミアホール(愛知県名古屋市)
30 才からの “はじめてのコモンズ” (お子様連れ可)		1月26日(火)	13:30～15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
60 才からの “はじめてのコモンズ”		1月29日(金)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		2月26日(金)		
ジュニア NISA 徹底活用！ パパとママのためのこどもトラストセミナー	(お子様連れ可)	1月27日(水)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	(お子様連れ可)	2月18日(木)	13:30～15:00	
コモンズ投信 ファンド説明会		1月13日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		2月6日(土)	14:00～16:00	
		2月10日(水)	19:00～21:00	
くつろぎ BAR		1月20日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		2月17日(水)		
コモンズまなび塾 はじめて学ぶ投資信託	DAY1 「投資信託とは」	2月17日(水)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	DAY2 「自分に合った投資信託とは？」	2月24日(水)		
	DAY3 「投資信託を選んでみよう」	3月9日(水)		

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 ■ ウェブサイト http://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階